

2023年8月4日

各位

会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング
 代表者名 代表取締役社長 塚田 正之
 (コード：2418 東証プライム)
 問合せ先 財務経理部長 山崎 誠広
 (TEL：03-5464-0081)
 (URL <https://www.tsukada-global.holdings>)

2023年12月期 第2四半期及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日に公表しました2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年6月30日)
 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	26,490	786	614	293	6円14銭
今回修正予想(B)	26,842	1,418	2,165	2,036	42円70銭
増減額(B)－(A)	352	632	1,551	1,743	
増減率(%)	1.3	80.4	252.7	595.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期実績)	22,539	△349	1,338	2	0円05銭

2. 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)
 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	57,990	4,508	4,171	2,927	61円36銭
今回修正予想(B)	58,300	4,738	4,771	3,950	82円81銭
増減額(B)－(A)	310	230	600	1,023	
増減率(%)	0.5	5.1	14.4	35.0	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期実績)	51,699	2,976	4,758	1,498	31円42銭

3. 修正理由

第2四半期連結累計期間の売上高全体としては微増となる見込みですが、婚礼事業において婚礼施行単価の戻りの停滞から収益性が低下する半面、ホテル事業において、訪日外国人数が2023年6月推計で2,073千人(2019年6月比72.0%)と堅調に回復したこと、また、新型コロナウイルスの第5類への引き下げの効果もあり国内旅行者数が大幅に増加したことにより、宿泊稼働率及び宿泊単価が予測を上回り営業利益は増加する見込みであります。また、営業外収益において、急激な為替変動に伴う為替差益の計上、さらに、特別利益において店舗の立ち退きに伴う受取補償金の計上により親会社株主に帰属する四半期純利益も増加する見込であります。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の変動を反映したことにより売上高、利益面ともに前回予想を上回る見込みであります。

4. 補足情報(施行及び受注の状況)

(件数)

セグメント	前第2四半期連結累計期間 (2022年2Q)			当第2四半期連結累計期間 (2023年2Q)			前連結会計年度 (2022年4Q)		
	受注数	施行数	受注残	受注数	施行数	受注残	受注数	施行数	受注残
婚礼事業	5,421	4,834	7,594	5,758	4,899	6,839	9,810	10,837	5,980
ホテル事業	842	778	1,285	1,108	791	1,437	1,559	1,660	1,120
合計	6,263	5,612	8,879	6,866	5,690	8,276	11,369	12,497	7,100

(注) 上記業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上